

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業員評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月16日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	古民家仕様ということにて、自宅に帰ってきた感じで、違和感なく過ごしてもらえる利点がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の活動は取り組みに沿った集団生活を円滑に過ごして頂くというコンセプトにて展開している。 ・利用児童が迷うことなく常駐スタッフが見守りをする事で本来の支援を受けながら児童たちだけの活動だけでなくスタッフの存在も含まれる。 	必ず児童だけの空間を作らず、スタッフ常駐によりSSTを取り入れながら児童の達成感を含む充実感を構築していく。
2	運動療育を行う上で近隣に公園があり、児童の健康管理及び体力増強本人達的意思決定による行動が可能。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動療育にて使用する近隣の公園に関しては、当事業所の避難区域近隣となっているので災害の危険の場合に対応が可能となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童及びスタッフと町内の人々と関係性をより親密に構築をしていく。

3	<p>取り組みプログラム設定に関して児童の自主性を重んじ将来の生活動作リズム等を構築していく仕組みがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団活動への参加による自身の役割分担の理解。 ・ SSTを理解していくうえで自身の将来展望の構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動を継続していくうえで自身の言動行動を振り返りながら自身が納得できる状況を構築出来る事を目指す。
---	---	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>古民家仕様にて階段の上がり降り等幅が狭く衝突防止・災害時での対応の検討が必要になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視野を広げ衝突回避ができるような行動を起こす。 ・ 災害時に対してスムーズに行動が出来るような空間を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動時の注意点の把握を児童及びスタッフへの周知を確立し全体に構築していく。 ・ 非常口等に避難の妨げになる障害は取り除く。
2	<p>保護者様との交流が極めて少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者様の時間の許す限り事業所として児童の状況を確認していただく取り組みの確保を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所独自のイベント情報の周知及び参加要請等。 ・ 保護者様のニーズ（関心・意欲・態度）を掘り起こし積極的に参加していただく為の施策の検討。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス虹のお家へさか

公表日 2025年2月1日

利用児童数 2025/1/23 現在13名 (13世帯)

回収数 11名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10		1		児童（こども）、スタッフの人数がわからない。	保護者様を事業所に迎え入れ現状を把握していただくよう定期的実施していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1	2	3	児童（こども）、スタッフの人数がわからない。	各スペースにて児童対スタッフの配置を考えながら必要人数の確保をしながら対応している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1		2		古民家仕様によりバリアフリー化が現在では進んでいないため児童及びスタッフに現状を理解しながら注意喚起をして実施している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9			2		各児童の家庭環境に近い状況にて過ごしやすいスペースを提供している。
適 切	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1	1		パート職員は知識だけでなく、1人1人向き合って支援をしていると感じる。障害だけの知識だけでなく発達の部分にしっかり目を向けて学んでほしい職員の学ぶ姿勢が感じられない。	現状のスタッフ間で情報共有がうまく機能していない状況であったゆえに保護者に対して不信感を持たれる状態であったため定期的にスタッフを招集し情報共有にて意思統一を図っている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1		1		放課後等デイサービスガイドラインに沿ってプログラムを形成し行っている。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	2	1		半年の支援計画において十分な説明を受けておらず、ただサインだけをお願いされたことがあった。事前に保護者のニーズを確認して欲しいと思った。	担当スタッフの主観が計画に反映されている状態が主流となっていた状況をスタッフとの討議を踏まえ児童・保護者のニーズに知被ける内容及び改善を含め改めて取り組み計画書に落とし込んでいる。

切 な 支 援 の 提 供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1		1	利用児童によって相談支援事業所と提携している方やそうでない（セルフプラン）方というらっしゃるため全利用児童の統一を図るため家庭・学校・との連携を行って目標設定を考えている。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			2	各スタッフの支援に対する向上心により的確な判断を含め計画に沿って支援を行っている。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				活動を曜日固定にて児童に周知しながら活動内夜を具体的に児童達に委ねることで児童間に協力体制・集団活動の意識をさせることによりワイドに思考能力を育てている。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	4	2	地域交流として運動療育を行う際、近隣の公園等を利用して外部の人材との交流を促進している。	
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1			事業所来所（見学含む）時に放課後等デイサービスの状況を見てもらいながら活動状況を説明しています。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	1	1	1	児童の利用状況を計画に沿って検証（モニタリング）しながら都度意見を集約しながら進めています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	3	1	関係事業所等の情報を提示しながら情報共有を行っています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	1	1		利用時間内での状況を事細かに整理をしながら送迎時での報告又は伝達ノートなどの媒体を利用しながらリアルタイムに提供をしている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8		2	1	なかなか時間等が限られているのでしたくてもできない。	保護者様の時間の都合等がつく状況であればタイムリーに対応する体制を整えています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	2	1		利用時間内での状況を事細かに整理をしながら送迎時での報告又は伝達ノートなどの媒体を利用しながらリアルタイムに提供をしている。児童の状況把握をわかりやすく記載しています。	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	4	3	保護者様同士が同じ共通の繋がり及び接点を持てる内容を提供できる場の提供を実施していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	2	1	2	各人の個性及び強味等を考慮しながら本人達の個性が伸びるような施策等を提供しながら通常の生活能力の向上を目罪しています。（聴覚、視覚等）
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1	1	1	児童達が都度疑問不安を感じた時の対応をスタッフが素早く察知しながら安心して相談ができる体制を構築している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	2	1	管理責任者携帯にて利用者保護者に対し迅速に対応しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1		1	個人情報の漏洩に関しては十分注意喚起を促し取り組んでいます。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			2	各冊子情報だけでなく実際の被害想定も含め安全確認を怠らず取り組んでいく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			4	運動療育時間内に避難経路の確認を含めた訓練をていきてきにおこなっています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			1	安全確保を前提に日中の支援活動を行い計画に沿って展開している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			1	事故状況を把握確認しながら優先順位に沿って対応し関係者（家族、外部東）と連携し対応する。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8	1	2		児童は皆不安と隣り合わせではありますが自身の居場所として確立された環境であると感じていただいている。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	1		児童は環境変化に対応しながら多くの児童と交わりことで周代衣生活の意味及び楽しさ等を感じていただいております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	1	1	スタッフの入れ替わりがひどすぎる。そのため断続的な対策等が行われていない。こちらがいろいろ事務所に対して連絡ノートに書いても一部のことしか返事がなくとても残念で諦めています。	スタッフの異動（退職等）が多く、利用児童及び保護者様の戸惑いもあったため迅速に対応するように努める。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス虹のお家へさか
------	-------------------

公表日 2025年 2月 1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	4	1F・2Fによって使用用途の区別があり、1Fは集団活動専用にて使用、2Fは個別支援を重点に活用し利用者の状況を踏まえ目的に沿いながら指導員の見守りが十分可能になるよう務めている。	1F2F各部屋によりスタッフが常駐する各スタッフの支援意識及び把握などを児発管が理解しながら均等にスタッフ配置等が出来ているかをコミュニケーションを取りながら実施する。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	利用者の持つ特性及び状況を判断しながら、1対1ないし複数対1～2等の体制を確立している。	各スタッフのスキルアップを実現することでより一層幅を広げた対応支援の可能性を見出す。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	部屋の扉を外しオープンにすることでスムーズな通行及び衝突トラブルがなくなっています。	古民家使用にてバリアフリーに関しては十分とは言えない状態にある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	児童の来所前に各部屋建物内部のあらゆるところを清掃し快適に過ごせる対応を行っている。	年数の経っている古民家にてところどころの老朽化は否めない。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	建物内の活動部屋と別に相談室及び静養室を設けることで安心して児童が活動できる空間を確立している。	
業	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	4	各児童の個別支援を計画に沿って実施されているのか参加スタッフとの確認を実施し文章の見直し改善等を意見交換している。	月に一度全員参加を考えているが、各個人の都合にてむつかしい状態にある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	4	保護者向け評価表を参考にし各スタッフ参加の会議にて見直し改善等の意見交換を行っている。	

未 務 改 善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	4	朝礼ミーティングを行うことで、前日の内容確認から、各スタッフの感じている状況内容の共有化を計って業務改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		専門的な評価は行っていないが今後は検討して言いたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	4	行政からの情報を基にスタッフへのアプローチを行っている。	今後、各スタッフのスキルアップを目指し推奨していく。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	4		今後視える化をを計っていく。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	4	作成提案している。	今後より一層の視える化をを計っていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	4	実施されている。各スタッフの意見視点を取り上げながら各児童にあった内容の提案をしている。	今後より一層の見守りと関りによって掘り下げられる支援を検討する。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	4	いつでも確認ができるように目に届く範囲に置き都度見直しが出来るようにしている。	内容の刷新がスタッフに周知できるようにしていく。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	4	都度療法の内容を確認比較しながら改善を行っている。	各スタッフの考え行動がリアルに行えるよう工夫を凝らしてほしい
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	4	提起されている。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	4	児童本人たちで立案提起、実行を計画している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	4	児童本人たちで前回の内容を踏まえ本人たちで改善している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	4	支援実行されている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	4	実施されている。各スタッフ間にて意見交換を行い、支援活動の役割分担の再確認を行い支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	支援記録の記帳のみ。	利用時間内でのスタッフ間の振り返りが出来る時間を構築する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	4	実施している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	4	6か月毎にて実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	4	月間予定表に取り込まれている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	4	活動プログラム設定はあるが、児童本人の特性行動言動を感が見ながら取り組みの変更等を行っている。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	参画している。		

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	基本体制は確立されていると思う。	今後幅広く連携を実施していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	4	行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	行われていない。	今後は積極的に参加していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	現在は無し。	今後は積極的に参加していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	運動療育を目的として近隣公園にて関わり機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		今後は積極的に参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	4	送迎時主に保護者との情報交換を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	外部機関より情報等を利用児童（保護者）へ周知している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	2	新規契約にて内容の説明を行い都度変更等がある場合には内容変更の周知を行っている。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	4	設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	3	支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	4		今後取り組んでいきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	3	迅速に対応及び会社としての対応を上司に伺い対応している。	苦情につながる対応の見直し強化。スタッフの言動の把握を行う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	3		今後取り組んでいきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	2		伝達ノート及び送迎時での情報伝達にとどまっているため、気付き等リアルタイムでの情報交換が出来ていないため今後一層密にしながら取り組んでいきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		今後取り組んでいきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	玄関先に掲載している。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	4	実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	4	確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	対応がされている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		行われている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3	マニュアル作成にて文書化し周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	4	傾倒している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	4	対応している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	4	記載している。	